

学校だより

No.10 青梅市立第三小学校
校長 八木 慎一

令和5年12月25日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

「笑顔」でよいお年をお迎えください

校長 八木 慎一

この時期、三中の西側の坂から秩父・奥多摩方面を眺めると、幾重にも重なる山々の稜線が作り出す美しいコントラストが拝めます。冬の澄み切った空気のおかげでしょうか。

さて、ある公的機関が公表した調査の結果によると、「褒められる子供ほどへこたれない」という傾向があるそうです。へこたれない強さの基盤は自尊心にあり、褒められる子供のほうが自尊心も当然高いそうです。

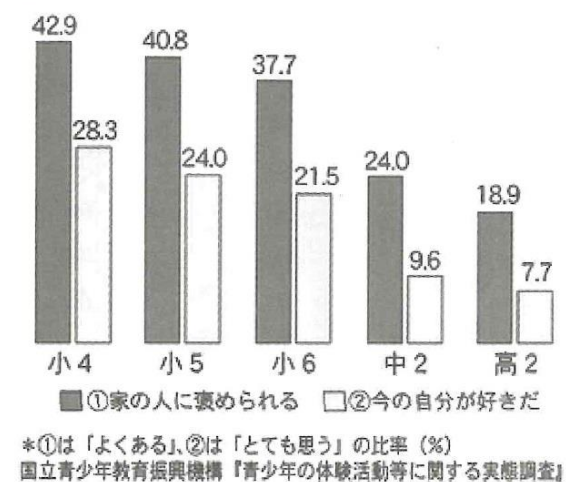
このグラフをご覧ください。学年が上がるにつれて褒められる頻度が減少し、それに比例して自尊心も下がっていく様子を読み取れます。小さい頃は今まで出来なかったことが比較的簡単に出来るようになり、褒められる機会が次々に巡ってきます。しかし、大きくなるにしたがって、いろいろなことが出来るようになる壁も高くなり、褒められる機会も少なくなってきました。しかも、この時期は成長に伴う自我の芽生えとも重なり、些細

なことで子供の思いと親の意向が衝突することが増えてきます。その結果、いつも叱られるのが当たり前になり、たまに褒められても以前のように素直に受け入れられず、自尊心や自己肯定感が高まらないようになります。このように素直に受け入れられなくなってしまっているのは、大きくなってからは頑張っている褒められる機会が減るだけでなく、逆に叱られ続けてしまった結果、子供の自尊心が大きく傷つけられている証拠だと思います。昔から「叱るより褒めよ」とよく言いますが、昔の人はよく言ったもので、本当にその通りだと私は思います。

この冬休み、子供たちは14日間家庭に帰ります。一緒に過ごす中で、お子さんがこの1年間で新しく身に付けたことや出来るようになったことなどを見つけて、たくさん褒めてあげてください。通知表「のびゆく子」も褒める材料になると思います。

今年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

■褒められ経験と自尊心の変化



楽しい冬休みを過ごすために・・・

安全で楽しく、有意義な冬休みを過ごすために、ここでは特に2点に絞って記します。お子さんと一緒にご確認ください。なお、詳しくは、先日の保護者会でお配りした「令和5年度冬休みのせいかつ」を併せてご確認ください。

○お金の管理について

1年間で一番小学生がお金を手にする機会が多いのが冬休みです。そこで、「友達同士の貸し借りは絶対にしないこと」「友達同士でおごったりおごられたりしないこと」「子供だけでお金をもって遊びに行かないこと」をよく確認してください。

○パソコン・スマートフォンの使用について

昨今、中学生や高校生でさえも、インターネットに絡むトラブルが続発し、時には大きな事件につながるケースも発生しています。そこで、「そもそも携帯電話等をもつ必要があるのか、家族でよく話し合う」「持つときはフィルタリングをかける」「時間や場所などについて家族でルールを決める」「人を傷つけることは絶対に書かない・相手を気遣った言葉を使う」「個人情報を書き込まない」「ネット上での知り合いとは絶対に会わない」「他人のサイトや写真、イラストなどを無断で使わない」「他人の携帯電話等を勝手に使わない」「家族内での使用外でのインターネット上へのアップはしない」といった以上のことを『SNS三小ルール』としています。こちらについても、お子さんとよく確認の上使用させてください。

音楽会

4年振りとなる音楽会が11月17日と18日に行われました。たくさんの保護者に見守っていただく中、無事終わることが出来ました。少々期間が空いてしまいましたが、改めてお礼を申し上げます。練習から本番に至る一連の活動の中で、子どもたちは音楽を演奏する技能や友達と音を通じて気持ちを合わせる感覚、また、お互いの成果を認め合う心など様々な面で成長したと思います。何より、たくさんの人たちが見る中、緊張やプレッシャーを感じながらも、今の精いっぱい自分で表現することは、何物にも代えがたい経験であると思いますし、技量や年齢関係なくそうした姿に観客は感動をするものだと思います。是非、今回で得たものを今後に活かしていただきたいと思います。